

児童相談所関連研修「児童福祉司 3～4 年目」（第 2 回）

【 日 時 】	令和 3 年 2 月 12 日（金）9：00～17：00
【 会 場 】	特別区職員研修所
【受講者数】	30 名
【 講 師 】	・鎌倉女子大学学術研究所 子ども発達臨床研究施設 研究員 加藤 吉和 氏 ・立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 鈴木 浩之 氏
【研修内容】	<目的> 児童福祉司（3～4 年目職員）として求められる専門的な知識・スキルを身につけ、的確な調査・アセスメントを通じた相談援助、他職種・他機関との連携に基づく調整、支援、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。 <内容> ① 多面的アセスメントと事例検討（講義・演習） ② 親子関係再構築支援（講義・演習）  《演習の様子》
【受講生の声】	・アセスメントと言葉では聞いていても、はっきりと理解していませんでした。情報を得られるまで聞いて、仮説を立てながら援助方針を考えていくという基本的なことをきちんと教えていただきました。 ・一つの面だけではなく、多面的に家庭の事情を捉えることが正確なアセスメントであり、効果のある支援を提供できると改めて思いました。 ・サインズオブセーフティーの事については、書籍を通して内容的には分かっているつもりでしたが、先生の講義が大変分かりやすく勉強になりました。 ・すでに職場の一部のワーカーがサインズオブセーフティーを取り入れた対応をしています、本日得た知識をさらに深めて、職場に広げたいと思いました。